

説明	表示	機能・用途
初期画面	Controller A1a Version 2.00	初期画面
確認	1. Scene PLAY	・接点を使用せずにプログラムを指定して、確認を行う場合に使用するメニューです。 STOP OK? No:Menu Yes:SET → PLAY... >No. S001 → PLAY S001 >No. S001 SETで一旦消灯 ▽△でシーンNo選択し、SETで再生 ・確認を終了する場合はMENUで再生を終了させてください。 ※確認機能での演出再生は予備せぬタイミングで停止する場合があります。
確認	2. Contact PLAY	・接点を使用せずに接点に対応するプログラムの確認を行う場合に、使用するメニューです。 PLAY-- >1 2 3 4 5 6 7 8 → PLAY-- >1 2 3 4 >5 6 7 8 ▽△でシーンNo選択し、SETで再生 ※手動確認中は、プログラム選択番号は無効です。 プログラム再生モニタの表示も変化します
接点状態確認	3. Contact MONITOR	・接点が機能しているかを確認する場合に、使用するメニューです。 接点状態の読取り結果を確認できます。 □ 接点OFF状態 ■ 接点ON状態
接点状態確認	4. Contact Time MONITOR	・接点が機能しているかを確認する場合に、使用するメニューです。 時刻接点状態の読取り結果を確認できます。 □ 接点OFF状態 ■ 接点ON状態
時刻	5. 2018-06-01 15:00:00	・お客様が確認および、変更する必要はございません。 >DATE TIME 2018-06-01 → >DATE TIME >2018-06-01 → >DATE TIME 2018->06-01 ※日時がずれていても演出には影響ありません。 △▽で日付か時刻か選択 (△▽で設定し) SETで確定して次へ (△▽で設定し) SETで確定して次へ
確認	6. SCHEDULE MONITOR	・スケジュールの開始時間を確認できます。 >18:00:00 = S001 >19:00:00 = S002 △▽でカーソルを移動 18:00:00 = S001 >19:00:00 = S002
確認	7. DMX PORT MODE MONITOR	・お客様が確認および、設定する必要はございません。 PORT >1 2 3 4 DMX1 CH001 PORT 1~4:DMX信号出力端子の番号 DMX 1~4:PORT1から出力する。専用ツールで設定したDMX系統No CH001~512:PORT1から出力する。DMXの先頭チャンネルNo △▽で確認するDMX信号出力端子の番号を切り替えます
確認	8. IP ADDRESS	・IPアドレスを表示します 専用ツールとの接続確認時に使用することがあります。 192.168.003.001
確認	9. MAINTENANCE	・お客様が使用する必要はございません。

3分間操作がない場合初期画面に戻り、バックライトもOFFになります (除く、シーン手動確認時)

特別な状態の液晶表示

パソコンを接続しての操作中などの場合、表示が変わります。この場合、プログラム選択番号が無効となり、ボタン操作はできません。

Controller A1a ***FORCED STOP***	Controller A1a *** CW LIVE ***	パソコンのツールから光を出したり、演出データを転送したりしています。 ツールからコントローラの接続を終了するか、ツールから10分以上通信が無い場合は初期画面に戻ります。
Controller A1a ***DMX CHECK***	アドレススイッチ	90~99のDMX出力チェックモードです。アドレスを戻せば初期画面に戻ります。

交換可能部品

【演出データ保存用 内部メモリSDカード】
SDHC 8GB MLCタイプ
Panasonic 品番 RP-SDWA08GJK 相当

- ※SDカードは内部メモリとして使用しています。
- ・通電中はSDカードの抜き差しはおこなわないでください。
- ・指定以外のSDカードは使用しないでください。

定格・仕様

定格入力電圧	AC100~242V 50Hz/60Hz	出力信号	DMX512
定格電力	3.3W	プログラム選択信号	無電圧a接点 (DC12V 約6mA/一点)
重量	2.3Kg	時刻補正信号	(接点入力有効ON 100ms 以上)
外形寸法	242W×210H×70D (突起部含まず)	記憶容量	約8GB
周囲温度	0℃~35℃	スケジュール数	99スケジュール、カレンダー4年
相対湿度	35%~85% (結露なきこと)	プログラム数	87プログラム (接点再生)・999プログラム (スケジュール再生)
設置場所	屋内盤 (鍵付)	制御チャンネル数	512チャンネル×4系統 (2048チャネル)
演出データ入力	イーサネット信号 (10/100BASE-T)	内蔵時計精度	月差13秒



演出プログラム自動再生器 コントローラA1タイプa 品番 NND27010K

本器の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず専門業者の方が施工してください。

安全に関するご注意

警告

禁止

- 本器を濡れた手でさわったり、本器に水をかけたりしない。
- 感電や火災・故障の原因となります。

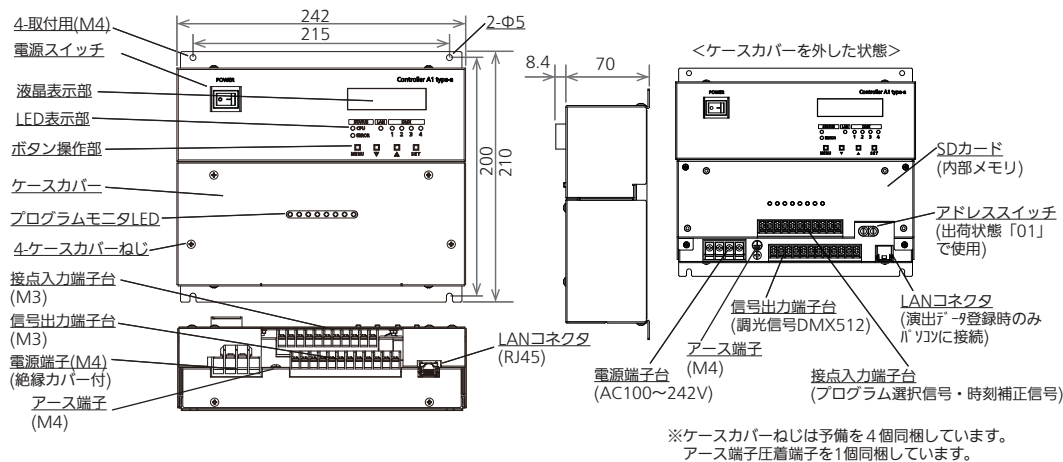
- 改造しない。
- 火災や故障の原因となります。

注意

必ず

- 商品には寿命があります。ご使用になって10年が経過しますと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は、安全チェックシートに基づき自主点検を実施ください。3年に1回は専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電などに至る場合があります。

機器の名称



各部説明

- 【電源スイッチ】
 - ・本器の電源を入/切するためのスイッチです。
- 【液晶表示部】
 - ・メニューなどを表示するための画面です。
- 【LED表示部】
 - ・各種状態を表示するためのLEDです。
- 【ボタン操作部】
 - ・メニュー操作に使用します。
- 【プログラムモニタLED】
 - ・再生中の演出データに対応する番号のLEDを点灯します。
- 【アドレススイッチ】
 - ・パソコンと接続する場合のIPアドレスを設定するスイッチです。【SDカード】出荷状態の設定で使用してください。
- 【LANコネクタ】
 - ・演出データ登録時にパソコンと接続するためのLAN端子です。
- 【電源端子台】
 - ・電源供給するための端子台です。
- 【信号出力端子台】
 - ・DMX信号線を接続するための端子台です。
- 【接点入力端子台】
 - ・演出データ再生のきっかけを与える信号を入力するための端子台です。
- 【アース端子】
 - ・接地線を接続するための端子です。
- 【SDカード】
 - ・演出データを保存するメモリです。

安全に関するご注意

警告

禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 湿気が多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない 火災や感電の原因となります。 ■ 屋外では使用しない 屋内盤（箱付）取付用です。屋外盤で使用すると火災・故障の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分解・改造しない 感電や故障の原因となります。 ■ 本器のボックス内部を濡れた手で触ったり、内部に水をかけたりしない 火災・故障の原因となります。
必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本器はAC100～242Vで使用する 他の電源は使用しないでください。火災・故障の原因となります。 ■ 電源のアース配線は正しくおこなう 感電や故障の原因となります。 ■ 誤結線のないように注意する 感電や故障の原因となります。 ■ 接続部はゆるみのないよう確実に接続する 感電や故障の原因となります。 ■ 接点入力・信号出力端子部には絶対に電源線を接続しない 異常発熱や火災、故障の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 適合電線を使用し、端子は確実にしめつける 異常発熱や火災の原因となります。 ■ 電源を入れたまま配線工事をしない 異常発熱や火災、感電の原因となります。 ■ 接続端子（アース端子以外）には、絶縁被覆付圧着端子を使用する 使用しない場合、感電や故障の原因となります。 ■ 施工後、ケースカバーは必ず取り付ける 感電や故障の原因となります。

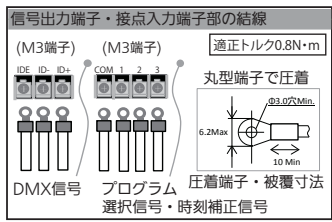
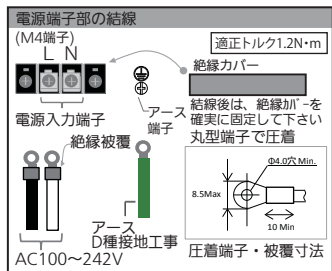
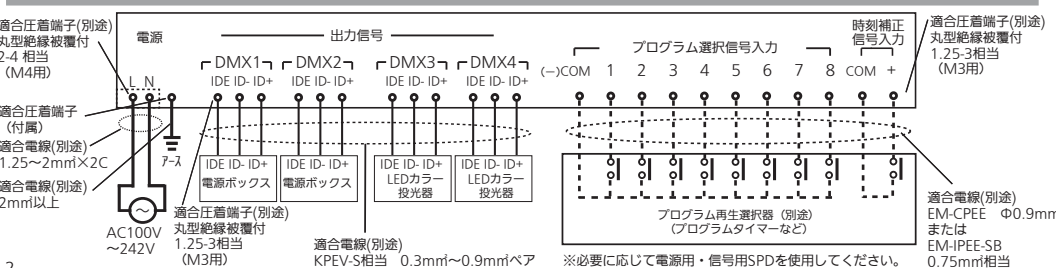
注意

必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ■ 帯電した状態で施工しない 静電気の影響により、故障する可能性があります。 ■ 無絡線を本器に近づけない 誤動作する可能性があります。 ■ 電線を盤外から直接配線・接続しない 電線引き取りにより、故障する可能性があります。電線の中継等行ってください。 ■ 極端に湿度の多い場所やほこりの多い場所では使用しない 故障や誤動作の原因となります。 <p>※相対湿度35%～85%で使用する（ただし結露なきこと）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ DMX信号線は正しく接続する 信号出力端子台のIDE（アース）、ID-（信号マイナス）、ID+（信号プラス）に正しく接続してください。 誤結線により、故障する可能性があります。 ■ 電源線と信号線を求めて配線しない 故障や誤動作の原因となります。 ■ 強い衝撃・振動を加えない、落下させない 故障の原因となります。
------	--	---

施工のしかた

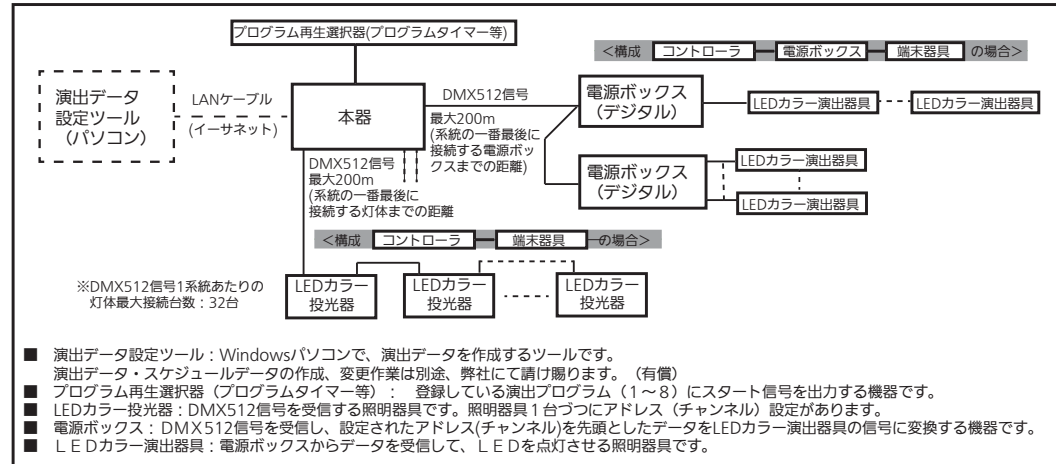
- 屋内盤に取り付ける
本器を上下4箇所の取り付け穴を使って盤内にねじ（M4）止めします。
※本器の周辺5cm（目安）以内の範囲に他の器具などを配置しないでください。
配線や作業の妨げになる場合があります。
- ケースカバー（本体下部）は必ず（ケースカバーねじ4点をはずしてください）
※SDカードを外さないでください。SDカードを外すと動作しなくなります。
※アドレススイッチを変更しないでください。パソコンと接続できなくなります。
- 電源端子・アース端子の接続
AC100～242Vを L、N 電源入力端子に接続します。
アース端子は、必ずアースに接続してください。
※電源線接続時は、端子台絶縁カバーをはずしてください。
接続後、必ず端子台絶縁カバーを取り付けてください。
※電源入力端子には、絶縁被覆付圧着端子を使用してください。
※アース端子には付属の圧着端子を使用してください。
- 信号出力端子の接続
各系統(1～4)ごとに、DMX信号の IDE、ID-、ID+ を正しく接続します。
誤結線や不十分な接続の場合、誤動作だけでなく機器が破損する可能性があります。
※信号出力端子には、絶縁被覆付圧着端子を使用してください。
- 接点入力端子の接続
プログラム選択信号（無電圧 a 接点）を COM(-)端子と各々1～8 端子を接続します。
※接点入力端子には、絶縁被覆付圧着端子を使用してください。
時刻補正機能を利用する場合は、時刻補正端子を接続します。
- ケースカバー（本体下部）を取り付ける（適正トルク0.6N・m）
※ケースカバーに電線を巻き込まないようにしてください。

結線図



システムについて

本器は、専用の演出データ設定ツールで作成した演出データを予め登録して再生する機器です。



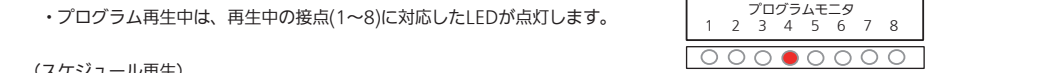
演出データ・スケジュールデータとプログラムの再生について

- 演出データ・スケジュールデータの作成と本器への登録は、当社が有償で請け負い、専門スタッフによりおこないます。
- 本器には、動作を安定に保つために自動リポート機能(月1回)が備わっています。
運用においては、リポート機能を考慮する必要があります。（設定は、当社にて実施致します）

- (接点再生)
- 本器で自動再生する演出プログラムは、光の色や変化のデータである「シーン」および「接点入力モード」「再生モード」からなります。

「接点入力モード」には、スタートのみ指示する「ワンショット」と、スタートおよび終了を指示する「オルタナイト」があります。「再生モード」には、「繰返し再生」と「回数指定再生」があります。
※停電などを考慮し、「ワンショット」モードでもプログラム再生選択器からの接点はON状態保持での使用をお勧めします。

注) 出荷状態は、あらかじめ演出データが登録されていますので、本コントローラからの負荷配線チェックが可能です。
登録データは、3チャンネル器具 (RGB) を想定した下記内容です。（170台/1系統 4系統とも同一データ）
1:赤 2:緑 3:青 4:白 (全チャンネルフル点灯)
5:レインボー 6:遅いレインボー 7:ウォーク 8:黒 (消灯)

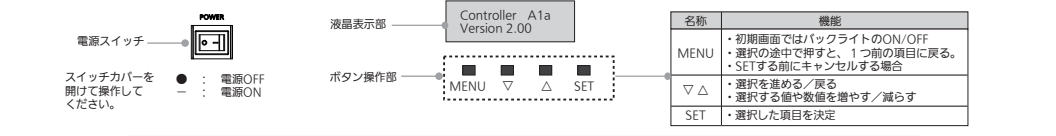


- (スケジュール再生)
- 1日のスケジュールをコントローラが読み込み、演出データを再生させることができます。
作成可能なスケジュールのパターンは、99個です。また、カレンダーは最大4年分登録可能です。

LED表示部

名称	色	機能
STATUS		
CPU	緑	一点灯：電源投入時ONになります 消灯：電源が入っていません
ERROR	赤	本体にエラーが発生した場合に点灯し、エラーが解除されると消灯します (SDカードが輸送振動などで抜けかけていないか確認ください)
LAN	緑	一点灯：LANケーブルをパソコンやHUBに接続しています (リンクが確立)
DMX1～4	緑	DMX信号送信時に点灯します

本体の操作



通常の演出再生は、接点再生・スケジュール再生以外の運用は出来ません。
ボタン操作部での演出操作は施工時以外行わないでください。